

## 部局経営方針

部 局 名	企画政策部			
部局の使命	<p><b>【全体的な考え方として】</b></p> <p>1 9市町村合併で誕生した薩摩川内市の「新しい自治体のかたち」と「自治の仕組み」をつくる。</p> <p>2 時代の流れを先見した「将来像を提言」する。</p> <p>3 常に、「経営の視点」で「改革の実行と評価」を行う。</p> <p><b>【所管課の取り組みについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策課～薩摩川内市の将来像を提言する。</li> <li>・行政改革推進課～1366名の職員で行ってきた市役所の仕事を、10年後には1000名の職員で行う全市的な仕組みをつくる。</li> <li>・コミュニティ課～1 市民の意見を広く聴き、市民に市役所の考えを広く伝える仕組みをつくる。 ～2 地区コミュニティ協議会による「新たな住民自治の仕組み」をつくる。</li> <li>・情報政策課～電算化によって住民サービスの質とスピードを向上させる。</li> </ul>			
経営資源	予算	当初 約10億円		
	構成	本庁	支所	計
	職員	68	27	95
	嘱託員	21	30	51
	計	89	57	146
現状認識及び中期展望	<p><b>【全体的な考え方として】</b></p> <p>1 平成17年度から向こう3年間は、10年後の薩摩川内市を方向付ける極めて重要な期間である。</p> <p>2 合併協議で「当分の間(3年間), 現行どおり」とした項目を一元化・統一する。</p> <p>3 「市民と職員の共感を呼ぶ成果を出すこと」を念頭に、市政改革の実行を軌道に乗せる。</p> <p><b>【所管課の取り組みについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策課～10年基本構想から5年基本計画, 3年実施計画, 単年度予算まで, 一貫性を持った考えで仕事を進める。</li> <li>・行政改革推進課～1 31の市政改革アクションプランの実行に全て着手する。 2 特に, 市役所業務の民間開放により(1)経済活性化(2)サービス向上(3)コスト削減</li> </ul>			

<p>現状認識及び中期展望</p>	<p>を図り、市民に信頼される市役所改革を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ課～地区自ら策定の地区振興計画に基づく地区コミュニティ協議会運営を軌道に乗せる。</li> <li>・情報政策課～ 1 事務改善と併せて市役所内部の電算化を進め、業務の効率化を図る。 2 甌・本土間の光ファイバー化など地域情報化を進める。</li> </ul>
<p>今年度の部局目標</p>	<p>【全体的な考え方として】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成17年度を「合併改革元年」と位置付ける。 ～新たな計画づくり元年，改革実行元年の認識を強く持って仕事を進める。</li> <li>2 計画づくりの手順と内容をわかりやすく示し，伝える。</li> <li>3 市政改革の手順と内容をわかりやすく示し，伝える。</li> <li>4 新たな広聴広報体制の仕組みをつくる。</li> </ol> <p>【所管課の取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策課～ 1 5年基本計画と男女共同参画基本計画をつくるに当たって，わかりやすく説明し，市民の意見を反映させる方法とスケジュールで進める。 2 5年基本計画への地区振興計画の反映検討に当たって，地区コミュニティ協議会に説明できる方法とスケジュールで進める。</li> <li>・行政改革推進課～ 3 1の市政改革アクションプランの実行年次を，9月までに決める。</li> <li>・コミュニティ課～ 1 地区振興計画づくりが48地区コミュニティ協議会の主体性と地区住民の合意のもとに進められるようにする。 2 広聴広報体制を整える。</li> <li>・情報政策課～ テレビ会議システムと画像配信システムを市役所，議会，地区コミュニティ協議会，小中学校などで利用する。</li> </ul>
<p>目標設定の理由</p>	<p>【全体的な考え方として】</p> <p>全職員が新たな時代の始まりという自覚を持ち，緊張感と同時に合併10万市のかたちと仕組みをつくるという自信と誇りを持って仕事に取り組む必然性がある。</p> <p>【所管課の取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策課～ 1 計画づくり，政策提言のリーダー課である。 2 計画の内容とともに，つくる方法，手順が重要で</li> </ul>

<p>目標設定の理由</p>	<p>ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革推進課～平成18年度からの改革実行を確実に進めるための準備をする。</li> <li>・コミュニティ課～1 地区振興計画は地区自らの活動指針となるものであり、計画の内容とともに、つくる方法、手順が重要である。 2 広聴広報は、県内1の広さを持つ薩摩川内市の重要政策である。</li> <li>・情報政策課～平成16年度の機器整備、光ファイバー網の成果を活用する。</li> </ul>
<p>目標達成に向けての手段・方策</p>	<p>【全体的な考え方として】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 広く市民の意見を聴く。 (部長:(1)市政改革などの出前講座に毎月1回以上、出席する。 (2)48地区全てのコミュニティーセンターに出向き、地区活性化のアイデアを聴く。</li> <li>2 市役所の政策の決め方を組織的に、計画的に行う。</li> <li>3 スケジュール進行管理を徹底する。(締め切りを守る。)</li> <li>4 ホウレンソウ(報告、連絡、相談)を徹底する。</li> </ol> <p>【所管課の取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策課～1(1)5年基本計画づくりにパブリックコメント制度を取り入れる。 (2)女性50人委員会制度を導入する。 2 地区振興計画を市の計画に反映検討のため、市役所内の体制を整える。</li> <li>・行政改革推進課～1 市政改革について、行政改革推進委員会、市政改革本部会議などに分かりやすい資料によって改革の根拠と効果を示す。 2 新たな広聴制度としてパブリックコメント制度導入を周知する。</li> <li>・コミュニティ課～1 地区振興計画づくりは、地区の主体性を尊重しながら方法、手順の助言を行う。 (1)市政モニター制度を導入する。 (2)市政広報官の配置で、広聴広報のより一層の充実を図る。</li> <li>・情報政策課～テレビ会議システムと画像配信システムの研修会とモデル実証を行う。</li> </ul>